

調査の内容

**【教科に関する調査（国語、算数・数学）】**

○主として「知識」に関する問題  
 ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容  
 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

○主として「活用」に関する問題  
 ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力  
 ・様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

**【生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査】**

○児童生徒に対する調査  
 ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査  
 《例》国語の勉強は好きですか、授業の内容はどの程度分かりますか、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況など

○学校に対する調査  
 ・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況  
 《例》学力向上や学習の定着に向けた取組、習熟度別少人数指導、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など

調査の目的

○全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育の結果を検証し、改善を図る。  
 ○各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において、自らの教育の結果を把握し、改善を図る。  
 ○各学校が、各児童生徒の学力・学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

調査の対象

○原則として当該学年の全児童生徒  
**【小学校】** 第6学年 559名 / 568名  
**【中学校】** 第3学年 397名 / 410名

調査時間

**【小学校】** 国語A(20分)、算数A(20分)  
 国語B(40分)、算数B(40分)  
 児童質問紙(20分)  
**【中学校】** 国語A(45分)、数学A(45分)  
 国語B(45分)、数学B(45分)  
 生徒質問紙(20分)

**平成二十一年度  
 「全国学力・学習状況調査」結果の概要**

全国学力・学習状況調査が四月二十一日に実施され、結果が八月二十七日に文部科学省から各小・中学校に送付されました。狛江市教育委員会では、市内の小・中学校の結果の分析と課題についてまとめましたので、ご報告します。

調査の内容

**【小学校の平均正答率】**

	国語A (主として知識)			国語B (主として活用)			算数A (主として知識)			算数B (主として活用)		
	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19
狛江市	74.0%	70.7%	83.3%	53.8%	56.7%	68.0%	81.5%	74.4%	83.7%	60.0%	57.0%	67.1%
東京都	71.6%	68.5%	82.8%	53.6%	54.1%	66.0%	79.7%	74.2%	83.7%	58.7%	55.7%	65.7%
全国	69.9%	65.4%	81.7%	50.5%	50.5%	62.0%	78.7%	72.2%	82.1%	54.8%	51.6%	63.6%

**【中学校の平均正答率】**

	国語A (主として知識)			国語B (主として活用)			数学A (主として知識)			数学B (主として活用)		
	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19	H21	H20	H19
狛江市	77.8%	75.0%	82.7%	75.8%	63.2%	73.0%	64.9%	63.9%	73.9%	60.5%	49.4%	63.5%
東京都	77.0%	73.5%	81.6%	73.8%	61.4%	72.0%	62.6%	62.6%	71.4%	56.8%	48.9%	60.6%
全国	77.0%	73.6%	81.6%	74.5%	60.8%	72.0%	62.7%	63.1%	71.9%	56.9%	49.2%	60.6%

分析と課題 (狛江市)

小学校 国語

**話すこと・聞くこと**  
 ◆(B)自分の立場や意図を明確にして話し合うことに課題があります。【B2二】(29.2%)  
 ◆(B)話の組立てを工夫しながら、図を使って説明することに課題があります。【B4二】(57.6~60.5%)

**読むこと**  
 ◇(A)文章の内容に合わせて小見出しを書くことは、多くの児童が理解しています。【A4】(87.8~97.5%)  
 ◆(B)報告文に必要な事柄を整理したり、事象や意見などを関係付けながら書いたりすることに課題があります。【B1一】(14.8~25.2%)

**読むこと**  
 ◆(A)主人公の行動や心情を描写した文章の表現の工夫をとらえることに課題があります。【A5】(61.5%)  
 ◆(B)筆者の表現の工夫や考えをとらえることに課題があります。【B3(2)】(56.5%)

**言語事項**  
 ◇(A)今回出題した漢字の読み(76.9~97.3%)と書き(76.2~85.0%)については、多くの児童が理解しています。【A1一、二】  
 ◆(A)ローマ字を正しく読んだり(52.2%)、書いたり(56.0%)することに課題があります。【A22、3】  
 ◆(A)接続語を使って一文を二文に分けて書くことに課題があります。【A8】(23.4%)  
 ◆(A)毛筆の下書きについて書き直す内容を説明することに課題があります。【A9】(33.3%)

中学校 国語

**話すこと・聞くこと**  
 ◇(A)効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫すること、話の内容から必要な情報を的確に聞き取ることは、多くの生徒ができています。【A2二】(90.7%)、【A4一】(93.7%)

**書くこと**  
 ◇(B)詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、詩と関連付けて自分の考えを書くことは、多くの生徒ができています。【B3三】(85.6%)  
 ◆(A)主語(主部)に対応させて述語(述部)を適切に書くことに課題があります。【A1一】(52.6%)  
 ◆(B)資料に表れている工夫を自分の表現に役立てること、文章から読み取った情報を簡潔にまとめて書くことに課題があります。【B1三ア】(56.7%)

**読むこと**  
 ◇(A)文学的な文章の内容を展開に即してとらえること、目次の特徴や役割を理解することは、多くの生徒ができています。【A3一】(91.2%)、【A6一】(88.2%)  
 ◇(B)詩の中の語句に注意し、その効果的な使い方に気付くことは、多くの生徒ができています。【B3一】(90.9~91.2%)  
 ◆(A)短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむことに課題があります。【A7一】(32.7%)  
 ◆(B)説明的な文章と補助資料とのかかわりを理解することに課題があります。【B2三】(65.2%)

**言語事項**  
 ◇(A)文脈に即して漢字を正しく読むこと、辞書に書かれている情報を適切に読み取るとは、多くの生徒ができています。【A8二】(89.7~98.0%)、【8八】(82.1%)  
 ◆(A)語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、一部に課題があります。【A8三ア】(46.6%)

小学校 算数

**数と計算**  
 ◇(A)整数、小数、分数の四則計算は、多くの児童ができています。【A1(1)~(5)】(87.3~98.0%)  
 ◆(B)情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を記述することに課題があります。【B3(3)】(33.6%)

**量と測定**  
 ◇(A)長さについての感覚を身に付けることは、多くの児童ができています。【A3】(91.6%)  
 ◆(B)実験を基に筋道を立てて考え、当てはまる重さを選択することに課題があります。【B2(2)】(55.3%)  
 ◆(B)与えられた条件に合う時刻を、筋道立てて考え、時刻表から選択することに課題があります。【B3(1)】(50.4%)

**図形**  
 ◇(A)平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいという性質は、多くの児童が理解できています。【A5(3)】(93.9%)  
 ◆(B)円の半径の求め方として示された解決方法を理解し、見方を変えた別の解決方法を考え、それを記述することに課題があります。【B1(3)】(30.6%)  
 ◆(B)事象を観察して図形を見だし、示された部分の長さを求めるために必要な情報を選択し、求め方を式に表すことに課題があります。【B1(1)】(60.8%)

**数量関係**  
 ◆(A)(B)百分率を求めることや、基準量と比較量を基にして、割合の大小を判断し、その理由を記述することに課題があります。【A7】(67.6%)、【B5(3)】(25.0%)  
 ◆(A)減法と除法の混合した整数の計算をすることに課題があります。【A1(6)】(68.9%)

中学校 数学

**数と式**  
 ◇(A)単項式どうしの乗法の計算は、多くの生徒ができています。【A2(1)】(88.7%)  
 ◆(A)一元一次方程式をつくって問題を解決するために、数量の関係をとらえ、2通りに表せる数量に着目することに課題があります。【A3(3)】(40.6%)  
 ◆(B)予想された事柄が一般的に成り立つ理由を説明することに課題があります。【B2(2)】(41.9%)

**図形**  
 ◇(A)2つの三角形が合同であることを判断する際に必要な辺や角の相等関係を指摘することは、多くの生徒ができています。【A7(1)】(88.2%)  
 ◆(A)同位角の意味を理解し、同位角の位置にあるものを選択することに課題があります。【A6(1)】(40.8%)  
 ◆(A)帰納的な方法による説明と演繹的な推論による証明の違いに着目して、証明の意義を理解することに課題があります。【A8】(31.5%)  
 ◆(B)図形の特徴を的確にとらえ、数学的な表現を用いて説明することに課題があります。【B1(2)】(54.8%)  
 ◆(B)2つの線分が平行になることを、三角形の合同を利用して証明することに課題があります。【B4(1)】(43.9%)

**数量関係**  
 ◆(A)2つの数量の関係が反比例になることへの理解や反比例の関係を式に表すことに課題があります。【A10(1)】(39.8%)、【A10(2)】(41.8%)  
 ◆(A)二元一次方程式の解を座標とする点の集合は、直線として表されることへの理解に課題があります。【A12】(36.0%)  
 ◆(B)事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することに課題があります。【B3(3)】(20.2%)

◇…多くの児童・生徒ができています点です。 ◆…課題のみられる点です。  
 (A)は、国語A・算数A・数学Aを (B)は、国語B・算数B・数学Bをあらわします。  
 【 】内は、問題番号をあらわします。〔 〕内は、狛江市の平均正答率をあらわします。